

| | | | | | | | |
|---|---|-----|-----|-----------------------|---------|------------|----|
| 授業科目 | 事例研究（社会福祉調査） Case Study (Research Method for Social Welfare) | | | 担当教員 | 表 孝承 | | |
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 2単位 | 開講年次・時期 | 1・2年／後期 | 必修・選択 | 選択 |
| 授業のねらい | | | | | | | |
| <p>実践的な学問である社会福祉学を研究する者にとって、人々や社会の実態を把握するための方法である社会（福祉）調査の基礎的な考え方は、必ず身につけておかなければならない。社会福祉学とは社会科学の一つとして位置づけられる“科学的”な学問であり、“科学的”根拠がなければ、社会福祉学の研究は成り立ち得ない。</p> <p>本事例研究では、社会福祉領域のいくつかの学術論文を講読した上で、統計ソフトを用いて実際に様々なデータの分析を行うことによって、科学的な社会（福祉）調査を学び、分析できることを目指す。</p> <p>なお、本授業では、一定期間 Spss ソフトを利用するため、学生用のライセンスを一定期間借りることをおすすめする。</p> | | | | | | | |
| 観点 | 学生の授業における到達目標 | | | 評価手段・方法 | | 評価比率 | |
| 関心・意欲 ・態度 | 社会福祉領域の研究で用いられる様々な研究手法の特徴等について討議することができる。 | | | ・参加姿勢 | | 20% | |
| 思考・判断 | 社会の福祉的な課題を科学的に見る視点が身についている。 | | | ・課題レポート ・授業でのデータ分析 | | 10% 20% | |
| 技能・表現 | 適切な方法でデータを分析することができる。 | | | ・課題レポート ・授業でのデータ分析 | | 20% 20% | |
| 知識・理解 | 社会調査の基礎的な知識・概念を説明することができる。 | | | ・課題レポート | | 10% | |
| 出席 | | | | | | 受験要件 | |
| 合計 | | | | | | 100% | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <p>「参加姿勢」は、授業への取り組み姿勢、テーマごとの討議や質疑における受け答えを評価する（20%）。「授業での分析」は、授業でのデータ分析への取り組みと理解度を評価する（40%）。「課題レポート」は、各回の講義において随時課した課題を評価する（40%）。授業でのデータ分析は、実際統計ソフトを用いて分析をした結果と理解度を評価する。</p> | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| <p>本事例研究では、社会福祉領域の論文において展開されている様々な社会調査を事例として取り上げ、特に次の3つの観点から読み込んでいく。①研究目的がどのような方法で達成されたのか、②その方法に不備はないのか、③得られた結果にどの程度の普遍性があるのか。</p> <p>その上で、統計ソフトを用い、様々な分析手法を実践的に体得することで、社会福祉を科学的に捉える基礎的な視点を身に付け、各自の研究に役立ててもらいたい。</p> | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| <p>教科書：指定教科書なし。適宜論文を配布する。</p> <p>参考書：轟亮・杉野勇編（2010）『入門・社会調査法』法律文化社。</p> | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| <p>①人々の幸せを願う「温かい」心と、客観的な調査や認識（時に「冷たい」とも言われる）は、決して矛盾するものではないことを学んで欲しい。</p> <p>②“科学的”な認識は、人間の特定の認識から生み出され洗練されてきたものであり、それゆえ限界も有している。しかし人々の幸福に資するための方法を模索する際に、科学的な根拠や判断は非常に大切であり、かつ効果的でもある。厳密に“科学的”であろうとすることがどれほど難しいかを知り、しかしそれでも“科学的”であろうとする態度を身につけてもらいたいと願っている。</p> | | | | | | | |

| 回 | テーマ | 授業の内容 | 予習・復習 |
|----|---------------|--|--|
| 1 | イントロダクション | 講義概要の説明、講義スケジュールの確認、用いる文献やデータ解析用のソフトの紹介等 | 予習:課題シートの作成 復習:用いる文献の概要に目を通す。 |
| 2 | 計量データに基づく論文講読 | 計量データを分析した論文を読み、批判的に検討する。 | 予習:論文を検索し、読む。 復習:用いる文献を再度読む。 |
| 3 | 計量データ分析① | アンケート用紙作成の際の注意点について学んだ上で、実際に質問文を作成する。また、回収後のデータ入力の方法について学ぶ(コーディング等)。 | 予習:論文の事前講読。 復習:当日学んだことを課題シートにまとめる。 |
| 4 | 計量データ分析② | 単純集計の求め方、グラフ作成の方法、クロス集計表の作成と χ^2 乗値の意味について実践的に学ぶ。 | 予習:課題シートの作成。 復習:当日学んだことを課題シートにまとめる。 |
| 5 | 計量データ分析③ | 相関係数・偏相関係数の求め方、t検定の方法について実践的に学ぶ。 | 予習:課題シートの作成。 復習:学習内容を課題シートにまとめる。 |
| 6 | 計量データ分析④ | 分散分析の方法について実践的に学ぶ。 | 予習:論文の事前講読。 復習:学習内容を課題シートにまとめる。 |
| 7 | 計量データ分析⑤ | 回帰分析の役割と方法について実践的に学ぶ。 | 予習:論文の事前講読。 復習:当日学んだことを課題シートにまとめる。 |
| 8 | 計量データ分析⑥ | 因子分析の役割と方法について実践的に学ぶ。 | 予習:論文の比較整理。 復習:当日学んだことを課題シートにまとめる。 |
| 9 | 質的データに基づく論文講読 | 質的データを分析した論文を読み、批判的に検討する。 | 予習:論文の比較整理。 復習:課題シートの作成。 |
| 10 | 質的データ分析① | インタビュー調査を行い、逐語録の作成方法、コーディングについて学び、実際行う。① | 予習:課題シートの作成。 復習:当日学んだことを課題シートにまとめる。 |
| 11 | 質的データ分析② | インタビュー調査を行い、逐語録の作成方法、コーディングについて学び、実際に行う。② | 予習:課題シートの作成。 復習:当日学んだことを課題シートにまとめる。 |
| 12 | 質的データ分析③ | GTA、内容分析、テキストマイニング等、質的データの分析方法について学び、実際に行ってみる。 | 予習:論文の事前講読。 復習:用いる文献の概要に目を通す。 |
| 13 | 質的データ分析② | GTA、内容分析、テキストマイニング等、質的データの分析方法について学び、実際に行ってみる。 | 予習:課題シートの作成。 復習:当日学んだことを課題シートにまとめる。 |
| 14 | 質的データ分析⑤ | GTA、内容分析、テキストマイニング等、質的データの分析方法について学び、実際に行ってみる。 | 予習:論文の事前講読。 復習:用いる文献の概要に目を通す。 |
| 15 | 質的データ分析④ | GTA、内容分析、テキストマイニング等、質的データの分析方法について学び、実際に行ってみる。 | 予習:論文の事前講読。 復習:用いる文献の概要に目を通す。 |